

## 平成 25 年度 パーククラブ活動方針 (案)

### 基本方針

1. 月一回以上は参加して、全員参加で物事を推進しよう。
2. 参加できなかった場合は、活動報告書及び会議議事録を確認して、情報を共有しよう。
3. 現場活動は、あせらず、無理せず、安全第一で楽しく行動しよう。

### 活動方針

(仮称) 泉佐野丘陵緑地の平成 26 年度、年間 360 日一部開放・開園を 1 年後に控え、平成 25 年度は 5 期生も加えると 100 名を超える組織となり、その準備段階としてパーククラブの活動体制・活動方針を大幅に見直すことにした。

大きな方針としては年間活動日数増、全体活動とグループ活動日の分割、対外イベント回数増、ゾーニングの具体化を提案したい。その他一部開放・開園について大阪府とパーククラブ間の開放・開園についての具体的協議、スキルアップ講座、休憩所・作業所内外装工事など課題も多い。平成 25 年度はパーククラブが新しい段階に入るための重要な 1 年となる。

#### 1. 活動日および活動日数

##### 1) 全体活動日

第 1 土曜、第 3 水曜、第 4 日曜、第 5 土曜 月活動日数 3 日—4 日

第 1 土曜 現地全体活動、役員会議

第 3 水曜 現地全体活動、大阪府連絡調整会議

第 4 日曜 ゾーニング&ワークショップ 毎月

パーククラブ会議 (4 月・6 月・8 月・10 月・12 月・2 月)

第 5 土曜 工作と炭焼き他必要作業 (6 月・8 月・11 月・3 月)

役員会で全体活動の年間活動計画、4 半期活動計画を作成

##### 2) グループ活動日

グループ別に月 2 日設定し 3 グループ計月 6 日

園路整備グループ 第 2 水、第 3 日

郷の館グループ 第 2 金、第 4 金

自然発掘グループ 第 2 日、第 4 水

クラブ全体活動日数 合計月 9・10 回とする。(月別詳細は添付資料参照)

目的

全体活動とグループ活動を別の日に設定することで年間活動日数増加

所属するグループ以外のグループ活動にも参加が可能になる

活動日数が増えることによって活動に参加する機会が増え年間延活動人数増加

## 2. グループ活動

各グループは自主的に設定した活動日に活動し、年間活動計画、4半期活動計画を役員会に提出し、毎月1回まとめて活動報告を作成し報告する。

全ての会員は基本的にどこかひとつ以上のグループに所属する。前年度までに全会員に所属希望グループの再確認作業をし、前年度とは別のグループへの変更も可能とする。各グループのリーダー、サブリーダーは鍵の管理、道具・備品の管理、安全管理などに注意して活動する。

グループではないが必要に応じ一時的な班を作り活動する。

(例) 対外および部内イベント、炭焼き、竹工作、どんぐり工作、作業所内外装工事、ササユリ保護調査活動など（グループ別活動計画は別添資料参照）

## 3. イベント

対外イベント

全体イベント回数増+各グループ別イベント1回以上開催

目標 年間10回以上

- ①タケノコ掘り(大輪会+一般) 4/20 予備日 4/21
- ②イオンチアーズイベント 年2回 5/26,10/27
- ③竹工作(部外講師招聘) 6/29
- ④どんぐり工作(部外講師招聘) 11/8
- ⑤秋のイベント(一般) 11/30
- ⑥ミニ門松作り(一般) 12/22

部内イベント

- ①ヤマザクラを愛でる集い 4/6
- ②向井池水利組合と協働 5/4 日程調整中
- ③外部団体の視察と協働 7/4 訪問先未定
- ④夏休みイベント 8/21
- ⑤5期生歓迎会 12/7

イベントごとに各グループから担当を選抜してイベント班を組織して実施する。

## 4. ゾーニング&ワークショップ

下記ワークショップ(WS)を実施予定

### 1) ゾーニング WS

WSで作成したゾーニング案を運営審議会に諮り、大阪府と協働して具体化する。

パーククラブで作業可能なものと大阪府に作業依頼するものを協議し、必要な道具・備品の購入を依頼する。

レンジャー広場棚田エリア ファイアサークル設置(R1)、レンジャー広場拡張(R2-R3)、ピオトープ作り(R3)、ハンノキ伐採(R1-R3)、\*ハンモックイベント、日陰用の一部残す、農作業用水路、農作業用畔道整備(R1-9)

竹の丘、望みの丘エリアのゾーニングを決定し、審議会承認後整備活動をする。利用計画、浸食竹の伐採と残すエリアの選択、植栽計画など決める。

他エリアのゾーニング WS 実施 水辺の広場エリア、谷口池周辺（せせらぎの丘含む）のゾーニング作成

## 2)開放・開園、パークセンターWS

平成26年一部開放・開園とパークセンター建設を控え、WSを実施し大阪府と下記事項を協議し役割分担を決定する。

- ① パークセンターの運営の役割分担
- ② コラボ地区開放エリアの確定と管理・整備役割分担
- ③ 花苗ヤードの利用方法
- ④ リーディング区域の棚田の利用方法

## 3)休憩所・作業所 WS

平成24年度末に休憩所・作業所が完成する。机、椅子、棚などの備品や内装・外装についてパーククラブで協議し、内外装工事をする。そのための工作班の組織や必要な備品・道具・材料など大阪府に要望する。

必要備品：例 スティール棚、本棚、キャビネット、机、椅子、簡易キッチン、照明機器、白板、ストーブ他 材料・加工道具：検討要

工事：パーククラブで可能なものと大阪府に依頼するものを協議

## 5. スキルアップ講座&プログラム開発

### 1)スキルアップ講座

平成26年度一部開放・開園に向けて来園者をもてなすためのプログラム開発、園内案内のインタープリター、竹工作、広報などの能力を取得するため年6回の講座を受けて会員の能力アップを図り、会員が自分でプログラム開発、実施が出来るようにする。

スキルアップ講座開催予定：6月・7月・8月・9月・10月・12月

パーククラブの活動日以外で設定予定（受講は希望者のみ定員なし）

スキルアップ講座は今後毎年実施を要望して行く。

### 2)プログラム開発

各グループでプログラムの開発をしてプログラムの蓄積を増やす

(例)

園路グループ・・・竹伐りイベント

郷の館グループ・・・お茶作り、サツマイモ収穫、吊るし柿作り等

自然発掘グループ・・・樹木調査・観察、ササユリ鑑賞会、水生動植物調査等

工作班・・・竹工作、どんぐり工作、ミニ門松作り

その他・・・ハンモックイベント、竹筒タケノコご飯作り等

## 6. 大阪府との協働

大阪府とパーククラブとの協働をさらに推進し、平成26年度からの一部開放・開園に備えるとともにパーククラブ員が参加しやすい環境作りや計画の具体化、パーククラブのさらなる発展を図る。

- 1)ゾーニング、活動計画、イベント実施など大阪府にも計画段階から入ってもらい一緒に公園建設、運営、維持管理をしていく一体感を共有する。
- 2)パーククラブ会議、WSなどの会議に大阪府や専門家の参加を要請する。
- 3)パーククラブの運営の事務的負担を軽減するため大阪府より人の派遣や連絡などの業務、ホームページ開設（大阪府ホームページ内）など事務局的支援を受け、大阪府とパーククラブの関係強化を図る。

## 7. 府民との協働

### 1)地元住民との協働

上之郷土地改良区（向井池水利組合）と向井池、谷口池の水源および天神川の清掃活動を協働で実施する。

一昨年と同じ企画をしたが雨で中止になったままとなり復活を図る。

目的は地元住民とのパイプ作りや昔の泉佐野丘陵緑地を知っている住民から昔の里山の状況や水源、里道、棚田などについて話を聞き今後のゾーニングに反映させる。

### 2)一般ボランティアとの協働

一般の方に、パーククラブの作業、調査活動を体験出来していただく機会を設ける。

目的

- ①（仮称）泉佐野丘陵緑地公園の平成26年開放・開園を広く府民に広く知ってもらう良い機会となる
- ②パーククラブ会員拡大につながる（パークレンジャー講座受講条件）
- ③女性・子供の参加拡大を図る
- ④クラブ員の意識向上、スキルアップにつながる

上記クラブ内で保険などの参加条件を検討し、合意取得した後、大阪府、クラブ内でボランティア募集のためのパンフレット作成、配布方法、体制作りする。